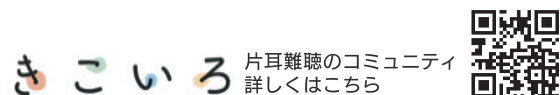


職場での 片耳難聴者への合理的配慮

片耳難聴とは、文字通り片耳のみ聞こえない・聞こえにくい状態のことを言います。片方の耳が正常聴力のため、日常生活に大きな支障はありません。ですが、以下のような特定の場面では聞こえにくさが生じます。聞こえの程度は人それぞれです。その場の環境によっても必要な対応は異なります。ぜひ本人と相談いただき、可能な範囲でご配慮ください。



1 聞こえる耳の側から話しかけてください



話しかける方向によっては聞こえません。聞き取りやすい位置を譲っていただくと助かります。

- ✓ オフィスの席や会議、懇親会するとき
- ✓ 店舗などで隣同士で並んでレジに入るとき

2 電話中に話しかける際はメモに書いて渡してください



聞こえる側の耳は受話器で埋まっています。メモを頂くか、手で合図していただくと助かります。

- ✓ 電話中の内容に注釈を入れたいとき
- ✓ 「あとで替わって」など電話中に伝えたいとき

3 賑やかな場所では近くではっきり話してください。



聞こえる耳から伝えていただくか、紙に書く・静かな場所に移動する等お願いします。

- ✓ 電車やバス、車など乗り物に乗っているとき
- ✓ 宴会、会議などで大勢の人が発言しているとき

4 声かけに気付かないときは肩を叩くなどしてください。



自分に話しかけられていると気づきにくいことがあります。肩を叩く、名前を呼ぶなどしてください。

- ✓ 目の前の作業に集中しているとき
- ✓ 他の人と会話している最中に話しかけるとき

5 どこから音がするか探していたら教えてください



キョロキョロ探していたら、どこから音がしているのか教えてもらえると助かります。

- ✓ 飲食店などでお客様に遠くから呼び掛けられたとき
- ✓ オフィスで複数の電話が鳴っているとき